

# 第 12 回

# 日本静脈経腸栄養学会

## 北海道支部例会

支 部 長 信岡 隆幸 (札幌医科大学医学部 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学)

当番世話人 荒川 朋子 (札幌医科大学附属病院 栄養管理センター)

日時：2019年6月1日(土)

午前9時55分～午後4時40分

場所：かでの2・7(北海道立道民活動センター)

札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル

発表時間：口演時間5分 質疑時間2分  
シンポジウム：口演時間7分 討論時間24分  
発表形式：全演題PCプレゼンテーション  
(詳細は「参加の方々へのご案内」をご覧ください)

世話人会：11:30～12:00(310会議室)



**JSPEN** 日本静脈経腸栄養学会北海道支部会事務局

札幌医科大学医学部 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座内  
〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目  
TEL：011-611-2111(内線32810)  
FAX：011-613-1678



# 参加の方々へのご案内とお願い

## 1. 開 場

参加受付、PCデータ受付は午前9時15分より開始します。  
※8時50分までは入館できませんので、ご注意ください。

## 2. 参加費

かでの2.7 1階展示ホール内の参加受付にて参加費(医師2,000円、医師以外1,000円)を納め、ネームカード(参加証、領収書兼用)を受け取り、氏名・所属をご記入ください。

## 3. 演者の皆様へ

### ①口頭発表について

- 発表、質疑時間は下記一覧表をご確認ください。

	発表	質疑	総合討論
シンポジウム	7分	—	24分
要望演題	5分	2分	—
一般演題	5分	2分	—

- 発表は、パソコンによるプロジェクター1面映写(解像度はXGA 1024×768)です。
- 事務局で用意するパソコンのOSはWindows 7、対応するアプリケーションソフトはWindows版 Microsoft Power Point 2007, 2010, 2013, 2016です。
- 動画を利用して講演をされる場合は、ご自身のパソコンをご用意ください。
- 音声のご使用はできません。
- 発表開始30分前までにデータ及びパソコンをPCデータ受付にて確認をお願いします。

### メディアをご持参の場合

- 発表データは、USBフラッシュメモリーで、ご用意ください。
- フォントはWindows標準フォント(MS・MSP明朝、MS・MSPゴシック、Time new Roman、Century等)をご使用ください。
- 事務局で用意したパソコンにコピーし、動作の確認をお願いします。メディアは、その場でご返却します。発表データは本会終了後、本会事務局が責任をもって消去します。
- 発表データのファイル名は『演題番号—名字』で保存してください。  
例: 43-鈴木

### パソコンをご持参の場合

- 事務局で用意するのは、通常のMini D-sub15ピンに対応する端子のみとなります。  
Mini D-sub15ピンに変換が必要なパソコンの場合は、必ず変換コネクタをご持参ください。  
(発表、準備中にバッテリー切れになる場合がございます。電源アダプターも必ずご持参ください。)  
なお、PC本体と付属非は、発表終了後、会場内で返却します。
- スマートフォン、i-Pad等でのデータ持込み及びHDMIでの送付は対応していません。
- パソコンのスクリーンセーバー、省電力機能、ウイルス駆除ソフト等が作動しないように設定をご確認ください。

## ご発表について

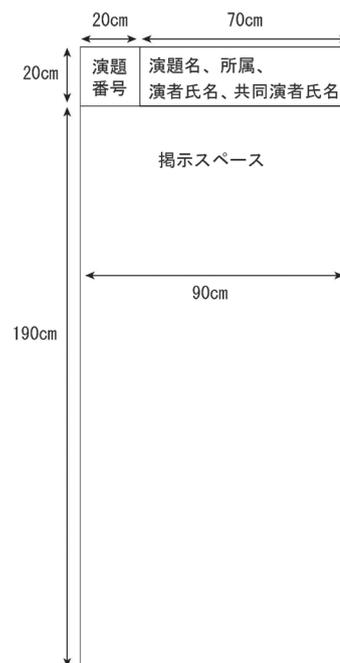
- 発表開始時間の15分前までに、次演者席にご着席ください。
- スライド枚数の制限はございませんが、発表時間を厳守してください。  
演台上にモニター、マウス、キーボードをご用意しておりますので、ご自身で操作し発表してください。  
(レーザーポインターは事務局でご用意しております。)
- 発表中は青色ランプ、終了1分前に黄色ランプ、終了時に赤色ランプが点灯します。

## ②ポスター発表について

- ・ポスターの貼付・発表・撤去時間は下記ご確認ください。

貼付・閲覧時間	発表時間	撤去時間
9:00～16:30	11:10～11:30	16:30～17:00

- ・各演者の持ち時間は、発表3分・質疑2分です。  
時間の厳守をお願いいたします。
- ・発表者受付はございません。セッション開始時刻の10分前になりましたら、ご自身のポスター前にお立ちください。  
座長の指示に従い、発表を開始してください。
- ・撤去時間を過ぎても引取りのないポスターは事務局で破棄させていただきます。
- ・パネルの大きさは右図の通りです。(高さ220cm×幅90cm)
- ・演題番号は事務局で準備いたしますが、演題名・所属・演者名・共同演者名・本文はご自身で用意ください。
- ・ポスター掲示用の画鋏とリボンは事務局で用意いたします。



# ランチョンセミナー

2019年6月1日(土) 12:10～13:10

かでの2・7 1階 かでのホール

---

## 栄養でがん患者を支える

～ Patient Journey に寄り添う栄養治療の実践に向けて～

講師：堤 理恵

徳島大学大学院 医歯薬学研究部 代謝栄養学分野

座長：荒川 朋子

札幌医科大学附属病院 栄養管理センター

---

共催：第12回日本静脈経腸栄養学会北海道支部会

ネスレ日本株式会社

ネスレヘルスサイエンスカンパニー

# 教育講演

2019年6月1日(土) 14:35～15:05

かでの2・7 1階 かでのホール

---

## 肥満・糖尿病外科治療の現状

講師：信岡 隆幸

札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学

座長：星 智和

留萌市立病院 外科

---

共催：第12回日本静脈経腸栄養学会北海道支部会

# プログラム

9:55~10:00 開会の辞

札幌医科大学附属病院 栄養管理センター 荒川 朋子

10:00~10:28 Session 1 口演 I

座長 こだま在宅内科緩和ケアクリニック 児玉 佳之  
函館五稜郭病院医療部 栄養科 NST 佐藤 亮介

## 1. 血液・腫瘍内科病棟でのNST介入の実際

旭川赤十字病院 NST<sup>1)</sup>、医療技術部 栄養課<sup>2)</sup>、消化器内科<sup>3)</sup>、麻酔科<sup>4)</sup>、血液・腫瘍内科<sup>5)</sup>、外科<sup>6)</sup>、糖尿病・内分泌内科<sup>7)</sup>

○前川奈都子<sup>1,2)</sup>、川原みなみ<sup>1,2)</sup>、橋本 桃子<sup>1,2)</sup>、石黒 絢乃<sup>1,2)</sup>、脇田 愛美<sup>1,2)</sup>、  
山田 萌<sup>1,2)</sup>、神田 暢子<sup>1,2)</sup>、中嶋 美緒<sup>1,2)</sup>、長瀬 まり<sup>1,2)</sup>、石川 千里<sup>1,3)</sup>、  
飛世 史則<sup>1,4)</sup>、佐藤 健<sup>1,5)</sup>、平 康二<sup>1,6)</sup>、森川 秋月<sup>1,7)</sup>

## 2. 当院における膵切除例に対する栄養管理の課題について

イムス札幌消化器中央総合病院

○本間野の子、岸 宗佑、梅澤 杏、堀田 愛花、榎戸 優介、小林 美香、田中和加子、  
樋口ひろか、品川 華菜、野尻 未来、堀 淳一郎、杉山 翔一、菊地こずえ、丹野 誠志

## 3. 急性期病棟から回復期リハにつなげるNST効果

独立行政法人 地域医療機能推進機構 登別病院 栄養管理室<sup>1)</sup>、看護部<sup>2)</sup>、  
リハビリテーション室<sup>3)</sup>、内科<sup>4)</sup>

○水野 光<sup>1)</sup>、豊島 綾<sup>1)</sup>、佐藤絵梨香<sup>2)</sup>、大河原朋子<sup>2)</sup>、伊藤 洋介<sup>2)</sup>、佐々木恵理<sup>3)</sup>、  
塚原 大輔<sup>4)</sup>、横山 豊治<sup>4)</sup>

## 4. 当院の結核患者に対するNSTの介入効果について

NHO 北海道医療センター 栄養管理室<sup>1)</sup>、消化器内科<sup>2)</sup>、リハビリテーション科<sup>3)</sup>、看護部<sup>4)</sup>

○村田 明子<sup>1)</sup>、前川 千紘<sup>1)</sup>、沢谷 里江<sup>1)</sup>、吉住 幸恵<sup>3)</sup>、佐藤利嘉子<sup>4)</sup>、近藤 聡子<sup>1)</sup>、  
武藤 修一<sup>2)</sup>

10:28~11:03 Session 2 口演 II

座長 町立長沼病院 内科消化器科 倉 敏郎  
市立室蘭総合病院 外科・消化器外科 佐々木賢一

## 5. 舌癌患者の栄養管理における言語聴覚士の役割

札幌医科大学附属病院 リハビリテーション部<sup>1)</sup>、札幌医科大学医学部 集中治療医学<sup>2)</sup>、  
札幌医科大学附属病院 栄養管理センター<sup>3)</sup>、看護部<sup>4)</sup>、薬剤部<sup>5)</sup>、検査部<sup>6)</sup>、歯科口腔外科<sup>7)</sup>、  
札幌医科大学医学部 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学<sup>8)</sup>、口腔外科学<sup>9)</sup>、リハビリテーション医学<sup>10)</sup>

○黒川 翔<sup>1)</sup>、巽 博臣<sup>2)</sup>、清藤 恭貴<sup>1)</sup>、池田 祐真<sup>1)</sup>、荒川 朋子<sup>3)</sup>、仲 詩織<sup>3)</sup>、  
石崎 千順<sup>4)</sup>、藤井由美子<sup>4)</sup>、大原 雄希<sup>5)</sup>、梅森 祥央<sup>6)</sup>、水野 愛理<sup>7)</sup>、信岡 隆幸<sup>8)</sup>、  
秋月 恵美<sup>8)</sup>、金子 剛<sup>9)</sup>、石合 純夫<sup>10)</sup>

## 6. 当院での胃瘻造設合併症の検討

札幌しらかば台病院 内科・消化器科<sup>1)</sup>、NST<sup>2)</sup>、脳神経内科<sup>3)</sup>

○菊地 剛史<sup>1)</sup>、吉田 幸成<sup>1,2)</sup>、星 百美<sup>2)</sup>、小日向真澄<sup>2)</sup>、津田 笑子<sup>2,3)</sup>、保月 隆良<sup>2,3)</sup>、  
久保 俊之<sup>1)</sup>、中村 浩子<sup>1)</sup>、見田 裕章<sup>1)</sup>、中村 正弘<sup>1)</sup>、安達 靖代<sup>1)</sup>、足立 靖<sup>1)</sup>、  
伴 紀宏<sup>1)</sup>、加藤 康夫<sup>1)</sup>、遠藤 高夫<sup>1)</sup>

## 7. 半固形栄養剤用加圧バッグの使用経験と臨床的意義について

イムス札幌消化器中央総合病院 消化器内科<sup>1)</sup>、NST<sup>2)</sup>、看護部<sup>3)</sup>

○岸 宗佑<sup>1,2)</sup>、岸本佳菜絵<sup>3)</sup>、本間野の子<sup>2)</sup>、梅澤 杏<sup>2)</sup>、掘田 愛花<sup>2)</sup>、榎戸 優介<sup>2)</sup>、  
小林 美香<sup>2)</sup>、田中和加子<sup>2)</sup>、樋口ひろか<sup>2)</sup>、品川 華菜<sup>2)</sup>、野尻 未来<sup>2)</sup>、堀 淳一郎<sup>2)</sup>、  
杉山 翔一<sup>2)</sup>、菊池こずえ<sup>2)</sup>、丹野 誠志<sup>1)</sup>

## 8. 高齢者に対する栄養用中心静脈ポート感染に関する検討

宮の森記念病院 外科・消化器科<sup>1)</sup>、安全管理部<sup>2)</sup>、脳神経外科<sup>3)</sup>

○真崎 茂法<sup>1)</sup>、山田千鶴子<sup>2)</sup>、河本 俊<sup>3)</sup>

## 9. 在宅NST介入によるがん終末期患者のQOL変化に関する検討と課題

医療法人社団佳生会 こだま在宅内科緩和ケアクリニック 診療部<sup>1)</sup>、看護部<sup>2)</sup>、薬剤部<sup>3)</sup>

○児玉 佳之<sup>1)</sup>、北田 優子<sup>2)</sup>、柴田 由香<sup>2)</sup>、松田 和也<sup>3)</sup>

11:10~11:30 Session 3 ポスター A

座長 王子総合病院 栄養管理科 澤岡 清美

## 10. 管理栄養士による ―たんぱく質強化アイスクリームの開発―

北海道大学病院 栄養管理部<sup>1)</sup>、北海道大学大学院薬学研究院 臨床病態解析学<sup>2)</sup>

○坂田 優希<sup>1)</sup>、池田 陽子<sup>1)</sup>、安念 明里<sup>1)</sup>、加藤 ちえ<sup>1)</sup>、吉田 ゆか<sup>1)</sup>、西村 雅勝<sup>1)</sup>、  
熊谷 聡美<sup>1)</sup>、武田 宏司<sup>1,2)</sup>

## 11. 重度神経性食思不振症に介入した1例

市立室蘭総合病院

○城前有紀乃、関川 由美、平岡 彩子、星野 裕子、三上 貴寛、中田 智美、岩城 薫、  
古内久美子、宇野 智子、佐々木賢一

## 12. アイソカルサポートが耐糖能異常と消化器症状に有用であった1例

札幌医科大学附属病院 栄養管理センター<sup>1)</sup>、札幌医科大学 集中治療医学<sup>2)</sup>、  
札幌医科大学附属病院 看護部<sup>3)</sup>、薬剤部<sup>4)</sup>、検査部<sup>5)</sup>、リハビリテーション部<sup>6)</sup>、  
札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学<sup>7)</sup>

○仲 詩織<sup>1)</sup>、巽 博臣<sup>2)</sup>、荒川 朋子<sup>1)</sup>、久富 亮佑<sup>1)</sup>、高瀬 彩<sup>1)</sup>、竹内 祐子<sup>1)</sup>、  
川村 明子<sup>3)</sup>、船水 良太<sup>3)</sup>、石森友花子<sup>3)</sup>、高橋 和也<sup>4)</sup>、山田 暁<sup>5)</sup>、清藤 恭貴<sup>6)</sup>、  
黒川 翔<sup>6)</sup>、秋月 恵美<sup>7)</sup>、信岡 隆幸<sup>7)</sup>

## 13. 微量元素に着目したアプローチで機能改善に好影響を与えた症例

東苗穂病院

○宮崎 泰代、安齊 千晶、黒田 良子、吉田 祐一

11:10~11:30 Session 3 ポスター B

座長 東札幌病院 内科 日下部俊朗

14. 進行食道癌患者への看護師と連携した栄養介入の経験

小樽市立病院 栄養管理科<sup>1)</sup>、NST<sup>2)</sup>、看護部<sup>3)</sup>、薬剤部<sup>4)</sup>、消化器内科<sup>5)</sup>、外科<sup>6)</sup>

○川野夕花里<sup>1,2)</sup>、渡邊 恵子<sup>1,2)</sup>、和田 裕子<sup>1,2)</sup>、西川 真由<sup>1,2)</sup>、逸馬 広美<sup>2,3)</sup>、  
武石 可菜<sup>2,4)</sup>、矢花 崇<sup>5)</sup>、越前谷勇人<sup>2,6)</sup>

15. 間歇的口腔食道栄養法で重度栄養障害を脱却し自宅退院した一例

医療法人溪仁会 札幌溪仁会リハビリテーション病院

○須藤 榮

16. 当院における消化器急性期疾患を有する症例の嚥下機能と栄養状態

イムス札幌消化器中央総合病院

○杉山 翔一、岸 宗佑、堀 淳一郎、梅澤 杏、本間野の子、堀田 愛花、榎戸 優介、  
小林 美香、田中和加子、樋口ひろか、品川 華菜、野尻 未来、菊地こずえ、丹野 誠志

17. 消化管運動機能不全の患者に、食事と下剤の工夫が奏功した1例

札幌南徳洲会病院<sup>1)</sup>、北海道医療センター<sup>2)</sup>

○武藤 修一<sup>1,2)</sup>、村田 明子<sup>2)</sup>、大谷 亮二<sup>2)</sup>、水品健一郎<sup>2)</sup>、吉住 幸恵<sup>2)</sup>、前川 千紘<sup>2)</sup>

11:10~11:30 Session 3 ポスター C

座長 北海道医療大学薬学部 薬学教育推進講座 笠師久美子

18. 第4回 薬剤師 NST セミナーにおける実践的研修プログラムの評価

北光記念病院 薬剤科<sup>1)</sup>、札幌西円山病院 薬剤部<sup>2)</sup>、  
こだま在宅内科緩和ケアクリニック 薬剤部<sup>3)</sup>、札幌医科大学附属病院 薬剤部<sup>4)</sup>、  
天使病院 薬剤部<sup>5)</sup>、洞爺温泉病院 薬局<sup>6)</sup>、北海道医療大学 薬学部<sup>7)</sup>、  
日本静脈経腸栄養学会北海道支部 薬剤師ワーキンググループ<sup>8)</sup>

○高橋 豊<sup>1,8)</sup>、阿部 孝行<sup>2,8)</sup>、松田 和也<sup>3,8)</sup>、高橋 和也<sup>4,8)</sup>、伊藤 拓<sup>5,8)</sup>、  
水谷 一寿<sup>6,8)</sup>、早坂 敬明<sup>7,8)</sup>、笠師久美子<sup>7,8)</sup>

19. 当院におけるNST認知度調査～アンケート結果の報告～

社会医療法人孝仁会 北海道大野記念病院

○島谷 梓、今野 信宏、乾 光則、高橋 瞳、加賀谷真緯、渡邊 幸子、高橋 亜矢、  
渋谷 法子、田中 香里

20. 当院におけるCONUT変法の検討

北海道大学病院 検査・輸血部<sup>1)</sup>、薬剤部<sup>2)</sup>、栄養管理部<sup>3)</sup>、医学研究院 消化器外科教室Ⅱ<sup>4)</sup>、  
薬学研究院 臨床病態解析学<sup>5)</sup>

○三谷 麻子<sup>1,2,3,4,5)</sup>、岩井 孝仁<sup>1)</sup>、中野 恵一<sup>1)</sup>、大沼 麗子<sup>1)</sup>、和田 妙子<sup>1)</sup>、安田 慶子<sup>1)</sup>、  
西田 睦<sup>1)</sup>、杉田 純一<sup>1)</sup>、豊嶋 崇徳<sup>1)</sup>、笠師久美子<sup>2)</sup>、熊谷 聡美<sup>3)</sup>、七戸 俊明<sup>4)</sup>、  
武田 宏司<sup>5)</sup>

21. 当院における胃瘻造設時栄養状態と予後の変遷

札幌しらかば台病院 内科・消化器科<sup>1)</sup>、NST<sup>2)</sup>、脳神経内科<sup>3)</sup>

○菊地 剛史<sup>1)</sup>、吉田 幸成<sup>1,2)</sup>、星 百美<sup>2)</sup>、小日向真澄<sup>2)</sup>、津田 笑子<sup>2,3)</sup>、保月 隆良<sup>2,3)</sup>、  
久保 俊之<sup>1)</sup>、中村 浩子<sup>1)</sup>、見田 裕章<sup>1)</sup>、中村 正弘<sup>1)</sup>、安達 靖代<sup>1)</sup>、足立 靖<sup>1)</sup>、  
伴 紀宏<sup>1)</sup>、加藤 康夫<sup>1)</sup>、遠藤 高夫<sup>1)</sup>

12:10～13:10 ランチョンセミナー

共催：ネスレ日本株式会社  
ネスレヘルスサイエンスカンパニー

## 栄養でがん患者を支える

### ～ Patient Journeyに寄り添う栄養治療の実践に向けて～

講師：堤 理恵(徳島大学大学院 医歯薬学研究部 代謝栄養学分野)

座長：荒川 朋子(札幌医科大学附属病院 栄養管理センター)

13:15～13:50 Session 4 要望演題

座長 北海道大学 消化器外科学教室 II 七戸 俊明  
札幌医科大学 集中治療医学 巽 博臣

#### 22. 術前化学療法のために胃空腸吻合術を先行した胃癌3例の体重変化

がん研有明病院

○熊谷 厚志、井田 智、松尾 宏美、伊沢由紀子、松下亜由子、川名 加織、高木 久美、  
中屋恵梨香、伊丹優貴子、榎田 滋穂、山口 彩、岡野 亜子、中濱 孝志、大橋 学、  
布部 創也

#### 23. 胃癌切除症例における術前CONUT値の予後指標としての有用性

札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学<sup>1)</sup>、札幌医科大学附属病院 栄養サポートチーム<sup>2)</sup>

○金澤あゆみ<sup>1)</sup>、信岡 隆幸<sup>1)</sup>、村上 武志<sup>1)</sup>、伊東 竜哉<sup>1)</sup>、及能 大輔<sup>1)</sup>、秋月 恵美<sup>1)</sup>、  
巽 博臣<sup>2)</sup>、荒川 朋子<sup>2)</sup>、竹政伊知朗<sup>1)</sup>

#### 24. 胆膵手術症例の術前栄養変化が術後回復に与える影響について

イムス札幌消化器中央総合病院 消化器内科<sup>1)</sup>、NST<sup>2)</sup>、外科<sup>3)</sup>

○岸 宗佑<sup>1,2)</sup>、本間野の子<sup>2)</sup>、梅澤 杏<sup>2)</sup>、早馬 聡<sup>3)</sup>、掘田 愛花<sup>2)</sup>、榎戸 優介<sup>2)</sup>、  
小林 美香<sup>2)</sup>、田中和加子<sup>2)</sup>、樋口ひろか<sup>2)</sup>、品川 華菜<sup>2)</sup>、野尻 未来<sup>2)</sup>、堀 淳一郎<sup>2)</sup>、  
杉山 翔一<sup>2)</sup>、菊池こずえ<sup>2)</sup>、丹野 誠志<sup>1)</sup>

#### 25. 口腔癌の化学放射線療法施行患者に対する早期NST介入の有用性

札幌医科大学附属病院<sup>1)</sup>、札幌医科大学医学部 集中治療医学<sup>2)</sup>、  
札幌医科大学附属病院 薬剤部<sup>3)</sup>、リハビリテーション部<sup>4)</sup>、検査部<sup>5)</sup>、栄養管理センター<sup>6)</sup>、  
歯科口腔外科<sup>7)</sup>、札幌医科大学医学部 血液内科学<sup>8)</sup>、消化器・総合、乳腺・内分泌外科学<sup>9)</sup>

○藤井由美子<sup>1)</sup>、巽 博臣<sup>2)</sup>、石崎 千順<sup>1)</sup>、川村 明子<sup>1)</sup>、石森友花子<sup>1)</sup>、  
船水 良太<sup>1)</sup>、大原 雄希<sup>3)</sup>、黒川 翔<sup>4)</sup>、梅森 祥央<sup>5)</sup>、仲 詩織<sup>6)</sup>、荒川 朋子<sup>6)</sup>、  
水野 愛理<sup>7)</sup>、井山 諭<sup>8)</sup>、秋月 恵美<sup>9)</sup>、信岡 隆幸<sup>9)</sup>

#### 26. 造血幹細胞移植におけるNST

札幌医科大学 血液内科学<sup>1)</sup>、札幌医科大学附属病院 NST<sup>2)</sup>、札幌医科大学 集中治療医学<sup>3)</sup>

○井山 諭<sup>1,2)</sup>、巽 博臣<sup>2,3)</sup>

13:50~14:25 Session 5 口演Ⅲ

座長 札幌禎心会病院 消化器外科 中村 誠志  
札幌医科大学附属病院 検査部 梅森 祥央

27. 炎症の影響を受けにくい栄養マーカーの検討

札幌医科大学附属病院 検査部<sup>1)</sup>、札幌医科大学医学部 集中治療医学<sup>2)</sup>、  
札幌医科大学附属病院 栄養管理センター<sup>3)</sup>、薬剤部<sup>4)</sup>、  
札幌医科大学医学部 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学<sup>5)</sup>、感染制御・臨床検査医学<sup>6)</sup>

○山田 暁<sup>1)</sup>、梅森 祥央<sup>1)</sup>、巽 博臣<sup>2)</sup>、仲 詩織<sup>3)</sup>、荒川 朋子<sup>3)</sup>、高橋 和也<sup>4)</sup>、  
望月 真希<sup>1)</sup>、浅沼 康一<sup>1)</sup>、信岡 隆幸<sup>5)</sup>、高橋 聡<sup>1,6)</sup>

28. 脳卒中例の摂食機能短期予後因子

中村記念病院 耳鼻咽喉科

○小西 正訓

29. リハビリテーション栄養診療ガイドラインからみえた現状・課題

医療法人社団刀圭会 協立病院 診療技術部栄養課

○吉村 由梨

30. 当院にて血清亜鉛値を測定した患者背景因子の検討

市立室蘭総合病院 外科・消化器外科<sup>1)</sup>、NST<sup>2)</sup>

○宇野 智子<sup>1,2)</sup>、三室 有璃<sup>2)</sup>、吉田 倫子<sup>2)</sup>、木村 明菜<sup>1,2)</sup>、古内久美子<sup>2)</sup>、前田有一郎<sup>2)</sup>、  
三浦 るみ<sup>2)</sup>、平岡 彩子<sup>2)</sup>、林 元子<sup>2)</sup>、河原林治朗<sup>2)</sup>、佐々木賢一<sup>1,2)</sup>

31. 末梢静脈栄養における非蛋白カロリー窒素比と輸液処方の課題

JA北海道厚生連倶知安厚生病院

○倉内 宣明

14:35~15:05 教育講演

肥満・糖尿病外科治療の現状

講師：信岡 隆幸(札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学)

座長：星 智和(留萌市立病院 外科)

15:15~16:35 Session 6 シンポジウム

座長 留萌市立病院 消化器内科 村松 博士  
栗山赤十字病院医療技術部 栄養課 真井 睦子

32. NST活動の現状と課題

旭川赤十字病院 N S T<sup>1)</sup>、医療技術部 栄養課<sup>2)</sup>、看護部<sup>3)</sup>、薬剤部<sup>4)</sup>、消化器内科<sup>5)</sup>、  
血液・腫瘍内科<sup>6)</sup>、麻酔科<sup>7)</sup>、外科<sup>8)</sup>、糖尿病・内分泌内科<sup>9)</sup>

○長瀬 まり<sup>1,2)</sup>、橋本 桃子<sup>1,2)</sup>、石黒 絢乃<sup>1,2)</sup>、脇田 愛美<sup>1,2)</sup>、山田 萌<sup>1,2)</sup>、  
神田 暢子<sup>1,2)</sup>、中嶋 美緒<sup>1,2)</sup>、前川奈都子<sup>1,2)</sup>、田中 亮一<sup>1,3)</sup>、増渕 幸二<sup>1,4)</sup>、  
石川 千里<sup>1,5)</sup>、佐藤 健<sup>1,6)</sup>、飛世 史則<sup>1,7)</sup>、平 康二<sup>1,8)</sup>、森川 秋月<sup>1,9)</sup>

### 33. 当院NSTにおける活動の現状と課題

栗山赤十字病院<sup>1)</sup>、NST<sup>2)</sup>、看護部<sup>3)</sup>、医療技術部栄養課<sup>4)</sup>、内科<sup>5)</sup>、薬剤部<sup>6)</sup>、  
医療技術部リハビリテーション課<sup>7)</sup>

○浅田 友紀<sup>1,2,3)</sup>、真井 睦子<sup>1,2,4)</sup>、瀧澤 昌司<sup>1,2,6)</sup>、三上 友朗<sup>1,2,7)</sup>、石塚 広司<sup>1,2,5)</sup>

### 34. 症例を通して考える - NSTと薬剤師のできること、できないこと -

北光記念病院 薬剤科

○高橋 豊

### 35. NSTへの歯科介入の意義・目的と今後の展開

札幌医科大学附属病院 歯科口腔外科<sup>1)</sup>、札幌医科大学医学部 集中治療医学<sup>2)</sup>、口腔外科学<sup>3)</sup>、  
札幌医科大学附属病院 栄養管理センター<sup>4)</sup>、看護部<sup>5)</sup>、薬剤部<sup>6)</sup>、検査部<sup>7)</sup>、  
リハビリテーション部<sup>8)</sup>、札幌医科大学医学部 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学<sup>9)</sup>

○水野 愛理<sup>1)</sup>、巽 博臣<sup>2)</sup>、佐々木敬則<sup>3)</sup>、仲 詩織<sup>4)</sup>、荒川 朋子<sup>4)</sup>、藤井由美子<sup>5)</sup>、  
石崎 千順<sup>5)</sup>、大原 雄希<sup>6)</sup>、梅森 祥央<sup>7)</sup>、黒川 翔<sup>8)</sup>、秋月 恵美<sup>9)</sup>、信岡 隆幸<sup>9)</sup>、  
宮崎 晃亘<sup>3)</sup>

### 36. 慢性期病院におけるNST活動の現状と課題

医療法人社団洞仁会 洞爺温泉病院 診療技術部 臨床検査課

○橋本 美紀

### 37. 栄養管理における理学療法士の役割と課題

(株)ARTISAN さっぽろリハビリ・ラボ 訪問看護リハビリステーションソレイユ

○鴫田 優子

### 38. 医師の立場からみた当院におけるNST活動の現状と課題

市立室蘭総合病院 外科・消化器外科<sup>1)</sup>、NST<sup>2)</sup>

○宇野 智子<sup>1,2)</sup>、関川 由美<sup>2)</sup>、平岡 彩子<sup>2)</sup>、城前有紀乃<sup>2)</sup>、星野 裕子<sup>2)</sup>、横田 泰平<sup>2)</sup>、  
浅野由美子<sup>2)</sup>、小野寺 馨<sup>2)</sup>、河原林治朗<sup>2)</sup>、佐々木賢一<sup>1,2)</sup>

### 39. より効果的なNSTカンファレンスを実現するためのKAIZENについて

イムス札幌消化器中央総合病院 消化器内科<sup>1)</sup>、栄養科<sup>2)</sup>、看護部<sup>3)</sup>、薬剤部<sup>4)</sup>、検査科<sup>5)</sup>、  
リハビリテーション科<sup>6)</sup>

○岸 宗佑<sup>1)</sup>、梅澤 杏<sup>2)</sup>、本間野の子<sup>2)</sup>、堀田 愛花<sup>2)</sup>、榎戸 優介<sup>2)</sup>、小林 美香<sup>3)</sup>、  
田中和加子<sup>3)</sup>、樋口ひろか<sup>4)</sup>、品川 華菜<sup>5)</sup>、野尻 未来<sup>5)</sup>、掘 淳一郎<sup>6)</sup>、杉山 翔一<sup>6)</sup>、  
菊池こずえ<sup>2)</sup>、丹野 誠志<sup>1)</sup>

16:35～16:40 閉会の辞

北海道医療大学薬学部 薬学教育推進講座 笠師久美子